

IIJ 電子@連絡帳 災害時連携オプションのデモ版試行について

I 尾張中部地域における災害時連携オプションのデモ版試行

1 目的

災害時に支援が必要な人を「電子@連絡帳：災害時要支援者一覧」としてリスト化し、地図上にマッピングする。有事には、地域の関係者が情報を共有し、安否の確認、避難先の把握、迅速な支援等に役立てることができるかを検証するため、デモ版の施行を行う。

2 実施方法

- ①デモケースを作成（市町で各3ケース程度）
- ②医師会が事務局である尾張中部地域在宅医療・介護連携推進協議会ワーキング部会で事業説明し、委員に協力を仰ぐ。
- ③各委員は発災前後の支援状況について、情報を書き込む。
- ④災害時情報連携オプションのデモ版を実施した結果について委員から意見を聴取し、今後実際にオプションを導入するかを協議する。

3 スケジュール

日時	内容	担当
令和2年9月上旬	災害時連携オプションのインストール	市町
9月中旬まで	デモケースの登録	市町
9月下旬まで	各委員のデモ用ID等の作成	在医SC
9月30日（水）	在宅医療介護連携推進協議会ワーキング会議にてメンバーに説明	市町
10月6日（火）迄	仮想ケースの支援状況の書込み	委員
10月7日（水）15時	発災	—
15時30分	有事「全要援護者検索許可設定」ON	市町
11月4日（水）迄	安否確認 発災後の支援書き込み	委員

4 災害の想定

- ・ 震度 6 弱
- ・ **家屋の状況**：壁にひび割れや亀裂が生じたり、瓦も落下した建物あり。また、木造家屋等耐震のない建物が一部倒壊。倒壊被災者は長期間避難所等に避難が余儀なくされると予想。
- ・ **ライフライン・インフラ等状況**：発災直後はガス・電気・水道共に停止したが、安全性を確認後、翌日から徐々に回復。電話等通信は発災直後は繋がりにくかったが、通信業者から災害用伝言掲示板等の提供もあり徐々に繋がりがよくなっている。主要道路通行可能。地震による堤防決壊や大火災等 2 次的災害はなし。鉄道も安全確認後、徐々に運行開始。

5 委員へのお願い

【発災前】

- ・ 各 I D で「災害時連携」行政専用デモ環境にログインしてください。
- ・ 支援チームの要援護者情報を「患者画面」から閲覧（担当患者以外閲覧不可）できるので、発災時まで自由に仮想支援を記載してください。

【発災後】

- ・ 担当患者の情報を閲覧し、発災後の状況を確認してください。
- ・ 確認・支援したと仮定して書き込んでください。また、他の職種が書き込んだのを受けてコメントもお願いします。
- ・ 自身が支援チームに入っていない要援護者も、「要援護者画面」から一覧・マップに表示され、安否情報の送信が可能となります（自身の担当患者でなくても安否確認（対応）できた場合は書き込んでください。その場合、自身で送信した内容でも担当患者でなければ閲覧できません）。

II デモ施行後の意見聴取について

この災害時連携オプションをレインボーネットに導入するかを検討していきます。今回、デモ版を施行し、各委員の方からの意見を聴取して判断材料にします。